

# 世界史 $\frac{1}{14}$

## 第1問

中央アジアの遊牧民と古代帝国について述べたA～Cの文章を読み、以下の問い（問1～15）に答えよ。

A 前6世紀半ばにおこった<sup>(a)</sup>アケメネス朝は中央アジアに進出し、その最大領域にはシル川以南のオアシス地帯が含まれた。一方、南ロシアの草原地帯では前6世紀に<sup>(b)</sup>スキタイが史上初の強大な遊牧国家を形成し、西方へと活動域を広げていった。以降、遊牧国家とオアシス地域など周辺の文明圏との交流が始まった。前2世紀には<sup>(c)</sup>匈奴がパミール以東のオアシス地帯を支配し、成立直後の漢を圧倒したが、<sup>(d)</sup>武帝の攻撃を受け勢力を弱めた。漢代には<sup>(e)</sup>オアシス都市クチャ東方の烏壘城に西域都護府をおき、タリム盆地を支配した。

問1 下線部(a)の王朝について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア オリエン特世界で初めて金属貨幣を鑄造した。
- イ 首都のニネヴェに大図書館を創設した。
- ウ 被征服民を寛容に扱い、フェニキア人などの商業活動を保護した。
- エ エーゲ海からガンジス川に及ぶ大帝国となった。

問2 下線部(b)の民族について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 動物文様を特徴とする金属工芸品、馬具などを製作した。
- b 黒海沿岸のギリシア植民市と交流をもった。

- |   |     |     |   |     |     |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

## 世界史 $\frac{2}{14}$

問3 下線部(c)について述べた次の文章中の空欄  ・  に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

匈奴は前1世紀半ばに東西に分裂したのち、1世紀に南北に分裂した。南匈奴は後漢に服属したが、4世紀に山西で挙兵し、 で晋（西晋）を滅ぼした。以後、華北では「五胡」と総称される遊牧民があいついで王朝をたてた。この五胡のうちには、匈奴の別種の  も含まれる。

- ア あー永嘉の乱      いー女真      イ あー永嘉の乱      いー羯  
ウ あー三藩の乱      いー女真      エ あー三藩の乱      いー羯

問4 下線部(d)の皇帝について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

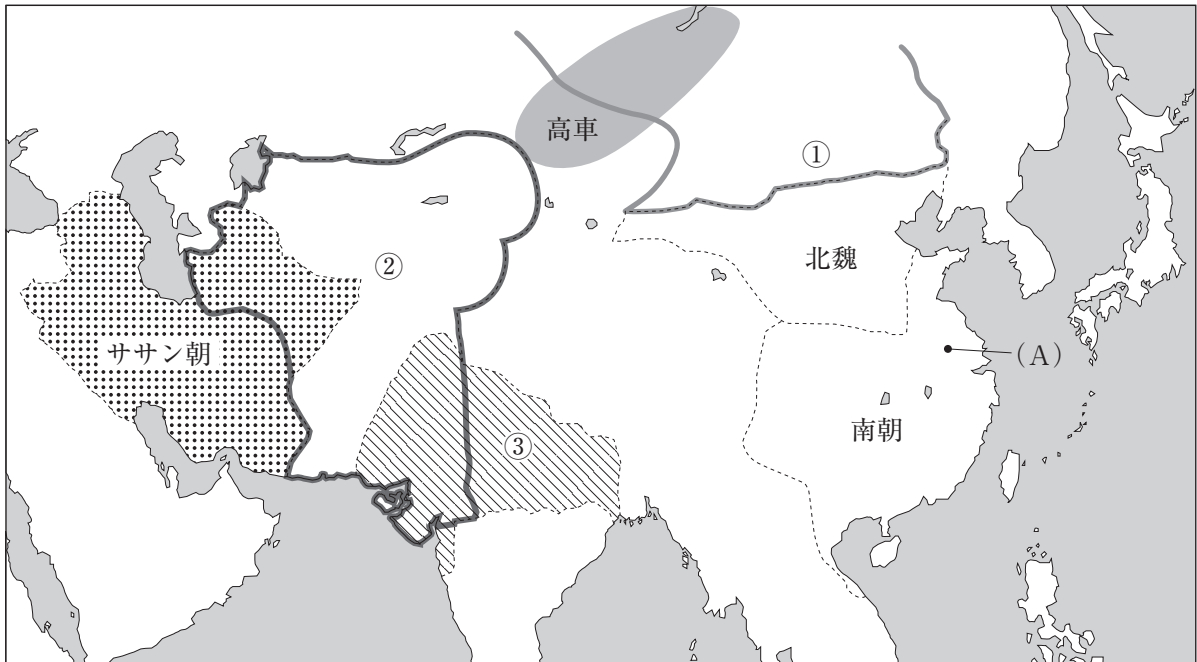
- ア 呉楚七国の乱を平定し、中央集権体制を確立した。  
イ 匈奴挾撃の同盟を大宛と結ぶため、張騫を派遣した。  
ウ 冒頓単于が率いる匈奴と戦って勝利した。  
エ 官吏任用制度として郷挙里選を創始した。

問5 下線部(e)の都市では仏教が栄えたが、この都市出身で五胡十六国時代の華北で仏典の漢訳に尽くし、中国の仏教に大きな影響を与えた僧として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 竜樹      イ 法顕      ウ 鳩摩羅什      エ 王重陽

## 世界史 $\frac{3}{14}$

B モンゴル系の鮮卑が華北に入り<sub>(f)</sub>北魏をたて、<sub>(g)</sub>5世紀に華北を統一した。一方、モンゴル高原の西部ではトルコ系の高車が勢力をのぼし、<sub>(h)</sub>地図中の①や<sub>(i)</sub>地図中の②と対抗した。地図中の②は5世紀半ばから中央アジアのオアシス都市を支配して西北インドまで進出し、西方の<sub>(j)</sub>ササン朝を圧迫し、南方では<sub>(k)</sub>地図中の③に侵入した。



5世紀頃のアジアの様子

問6 下線部(f)について述べた次の文章中の空欄  ・  に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

北魏の第6代孝文帝は均田制を施行し、村落制度として  を定めた。均田制や西魏で始まった  など北朝の諸制度は、隋、唐にも継承された。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ア うー里甲制 | えー募兵制 | イ うー里甲制 | えー府兵制 |
| ウ うー三長制 | えー募兵制 | エ うー三長制 | えー府兵制 |

問7 下線部(g)について、北魏が華北統一を果たした5世紀前半から江南では地図中(A)の都市を都に南朝の4王朝が興亡したが、(A)の都市の当時の名を答えよ。

問8 下線部(h)の民族名を答えよ。

## 世界史 $\frac{4}{14}$

問9 下線部(i)の民族名を答えよ。

問10 下線部(j)の王朝について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア キュロス2世がパルティアを滅ぼして建国した。
- イ ホスロー1世がビザンツ帝国のユスティニアヌス大帝と戦った。
- ウ イラン中部のイスファハーンに王都を造営した。
- エ ニハーヴァンドの戦いでウマイヤ朝に敗れた。

問11 下線部(k)の王朝について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア プルシャプラに都をおいた。
- イ カニシカ王の時代に全盛期をむかえた。
- ウ ヒンドゥー教が定着し、純インド的文化が栄えた。
- エ 玄奘が訪れ、ナーランダー僧院で学んだ。

C 6世紀には突厥がモンゴル高原から中央アジアにいたる大帝國を形成した。同世紀末に東西に分裂し、東突厥は一時<sup>(1)</sup>唐に服属した。突厥の勃興で中央アジアのオアシス定住民の活動も活発化し、サマルカンドを拠点としたイラン系の  人は隊商交易で活躍し、彼らのもたらす文化は遊牧民に影響を与えた。8世紀半ばには<sup>(n)</sup>ウイグルがモンゴル高原で強勢となったが、9世紀中頃に一部はタリム盆地に移り、これを契機にその地のトルコ化が進んだ。その後、中央アジアのイスラーム化が始まり、<sup>(o)</sup>トルコ系民族もイスラーム教を受容していった。

問12 下線部(l)の王朝について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 太宗の時代に西域諸国を征服し、領土が最大になった。
- イ 唐と百済の連合軍は白村江の戦いで日本を破った。
- ウ 中央におかれた三省のうち、中書省は皇帝の詔勅を審議する機関であった。
- エ 服属した異民族に対し、羈縻政策といわれる間接統治策をとった。

問13 文章中の空欄  に入れるのに最も適当な民族の名を答えよ。

## 世界史 $\frac{5}{14}$

問14 下線部(n)の民族について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 安史の乱の際に唐に援軍を送った。
- b 遊牧ウズベク（ウズベク人）に滅ぼされた。

- ア a－正      b－正      イ a－正      b－誤  
ウ a－誤      b－正      エ a－誤      b－誤

問15 下線部(o)について、中央アジアのイスラーム化に大きな影響を与えた最初のトルコ系イスラーム王朝として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア カラハン朝      イ サーマーン朝      ウ トゥールーン朝      エ ブワイフ朝

# 世界史 $\frac{6}{14}$

## 第2問

ローマ教会と教皇に関する年表について、以下の問い（問1～15）に答えよ。

ローマ教会, ローマ教皇の動向	
496年	(a) <u>フランク王国</u> のクローヴィスがアタナシウス派に改宗
529年	□(b) がモンテ=カシノに修道院を創設
6世紀末	教皇グレゴリウス1世が(c) <u>アングロ=サクソン人</u> などゲルマン人への布教に尽力
800年	教皇レオ3世, フランク王国の(d) <u>カール大帝</u> にローマ皇帝の帝冠を授与
910年	フランスのブルゴーニュに(e) <u>クリュニー修道院</u> 創立
962年	教皇ヨハネス12世, オットー1世に帝冠を授与…(f) <u>神聖ローマ帝国</u> の起源
1054年	(g) <u>ギリシア正教会</u> , ローマ=カトリック教会が分裂
11世紀	(h) <u>叙任権闘争</u> がおこる
1077年	(i) <u>カノッサの屈辱</u>
1095年	教皇ウルバヌス2世が□(j) 宗教会議で(k) <u>十字軍遠征</u> を提唱
13世紀初頭	教皇□(l)のもと, 教皇権の絶頂期
	教皇□(l)が(m) <u>フランチェスコ修道会</u> を公認
1303年	アナーニ事件
1309～77年	(n) <u>「教皇のバビロン捕囚」</u>
1378～1417年	(o) <u>教会大分裂 (大シスマ)</u>
1414～18年	(p) <u>コンスタンツ公会議</u>

## 世界史 $\frac{7}{14}$

問1 下線部(a)について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア カール＝マルテルは、トゥール・ポワティエ間の戦いでウマイヤ朝軍を撃退した。
- イ ピピンは、ブルグンド王国から奪ったラヴェンナ地方を教皇に寄進した。
- ウ カール大帝は、マジャール人やザクセン人の侵入を撃退した。
- エ メルセン条約ののちヴェルダン条約が結ばれ、王国は三分された。

問2 年表中の空欄 (b) に入れるのに最も適当な人名を答えよ。

問3 下線部(c)の民族について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a リューリクは、アングロ＝サクソン七王国を服属させてイングランドを統一した。
- b 9世紀末、アルフレッド大王はデーン人の侵入を撃退した。

- ア a－正      b－正      イ a－正      b－誤
- ウ a－誤      b－正      エ a－誤      b－誤

問4 下線部(d)について、カール大帝は各地から学者や聖職者を招き、学問を奨励した。イングランドから招かれ、文芸復興を担った神学者として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア アンセルムス      イ アベラール      ウ エウセビオス      エ アルクイン

問5 下線部(e)について、この修道院と同じロマネスク様式で建立された聖堂として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア シャトル大聖堂      イ サン＝ヴィターレ聖堂
- ウ ピサ大聖堂      エ ケルン大聖堂

## 世界史 $\frac{8}{14}$

問6 下線部(f)に関連して、神聖ローマ皇帝について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

a シュタウフェン朝のフリードリヒ2世はシチリア王を兼ねた。

b ロンバルディア同盟は、神聖ローマ皇帝のイタリア政策に対抗した。

ア a－正      b－正      イ a－正      b－誤

ウ a－誤      b－正      エ a－誤      b－誤

問7 下線部(g)に関連して、ギリシア正教会及びギリシア正教圏について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア ギリシア正教圏では聖像禁止令廃止後も、聖像画は一切描かれなかった。

イ キエフ公国のカジミェシュ大王はギリシア正教を国教とした。

ウ ブルガール人やルーマニア人はギリシア正教を受容した。

エ セルビア人やクロアチア人はギリシア正教を受容した。

問8 下線部(h)について、この争いを終結させた、神聖ローマ皇帝と教皇が結んだ宗教協約を答えよ。

問9 下線部(i)について、教皇に破門され、カノッサで教皇に謝罪した神聖ローマ皇帝の名を答えよ。

問10 年表中の空欄  ・  に入れる語の組合せとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア (j)－トリエント      (1)－レオ10世

イ (j)－トリエント      (1)－インノケンティウス3世

ウ (j)－クレルモン      (1)－レオ10世

エ (j)－クレルモン      (1)－インノケンティウス3世



## 世界史 $\frac{9}{14}$

問11 下線部(k)に関連して、十字軍遠征の時期に、聖地巡礼の保護のため宗教騎士団が結成された。ドイツ騎士団について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a エルベ川以東への植民活動を行い、バルト海沿岸部にドイツ騎士団領をたてた。
- b 同君連合を形成したりトアニアとポーランドに対抗した。

- |   |     |     |   |     |     |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

問12 下線部(m)について、13世紀はフランチェスコ修道会などの托鉢修道会が創設され活躍した時代で、中国にも初めてローマ＝カトリック教が布教された。教皇特使として派遣されて布教に従事し、大都の大司教となったフランチェスコ修道会の修道士として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- |   |          |   |           |
|---|----------|---|-----------|
| ア | ルブルック    | イ | モンテ＝コルヴィノ |
| ウ | プラノ＝カルピニ | エ | マテオ＝リッチ   |

問13 下線部(n)について、教皇庁は約70年間フランス王権の監視のもとにあった。教皇庁がおかれたフランスの都市の名を答えよ。

問14 下線部(o)について、この出来事は「14世紀の危機」ともいわれる社会変化の一つであるが、14世紀のヨーロッパの動向について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア フランスでジャックリーの乱がおきた。
- イ イギリスで模範議会が開かれた。
- ウ 神聖ローマ帝国で金印勅書が出された。
- エ 黒死病が大流行し、人口が激減した。

問15 下線部(p)について、教会の世俗化を批判したため、この会議で異端宣告を受け、火刑に処せられたベーメン（ボヘミア）の神学者の名を答えよ。

第3問

オスマン帝国の発展と衰退について述べた次の文章を読み、以下の問い（問1～6）に答えよ。

13世紀末のアナトリアに成立したオスマン帝国は、14世紀に西北アナトリアのビザンツ帝国領を征服し、さらにバルカン半島に進出してアドリアノーブルを首都とし、半島のほぼ全域を支配下に収めた。1402年ティムール軍に〔①〕の戦いで敗北して存亡の危機に陥ったが、国力の回復につとめ、1453年には第7代スルタン〔②〕がビザンツ帝国を滅ぼし、コンスタンティノーブルに遷都した。また、黒海北岸を征服し、黒海を「オスマンの海」とした。

16世紀に入ると、〔③〕がイランに台頭したシーア派のサファヴィー朝を破り、1517年には〔④〕朝を倒してエジプト・シリアを征服、メッカ・メディナの二大聖都を保護下においた。次のスレイマン1世は、ハンガリーを征服するとハプスブルク帝国の都ウィーンを包囲し、1538年には〔⑤〕の海戦でスペイン・ヴェネツィアなどの連合艦隊を破って地中海の制海権を手中にした。

大帝国となったオスマン帝国は、スルタンの専制国家ではあったが、イスラーム法にもとづく緩やかな統治体制をとり、国内にはギリシア人、アルメニア人、ユダヤ教徒なども共存し、<sup>(a)</sup>ヨーロッパ諸国にも特権を認めていた。軍は騎士と歩兵の軍団が中心で、<sup>(b)</sup>騎士には封土が配分され、その徴税権を与えられる代わりに戦時には兵士を伴って従軍した。また、強制徴発によって主にバルカン半島のキリスト教徒の子弟により編制されたスルタン直属の歩兵軍団イエニチェリは、火器で武装しヨーロッパ諸国の軍隊を圧倒した。

強勢を誇ったオスマン帝国も17世紀末には第2次ウィーン包囲に失敗し、1699年の〔⑥〕条約でハンガリー、トランシルヴァニアなどをオーストリアに割譲するなど、その勢いにかげりがみえ始めた。18世紀後半にはロシアが黒海北岸に進出し、<sup>(c)</sup>クリミア半島の支配権を奪われた。また、アラビア半島では<sup>(d)</sup>イスラーム教の原点回帰を主張する改革派の運動がおこり、半島中部の豪族サウード家と結んでオスマン帝国支配からの分離をめざし、メッカ・メディナを占領して王国をたてた。

19世紀になると領内のエジプトで総督〔⑦〕が自立し、近代化を進めた。バルカン半島ではヨーロッパのナショナリズムの高揚を受けて諸民族の独立運動がおこり、1829年には〔⑧〕が独立した。間接統治下にあったアルジェリアには1830年に〔⑨〕軍が出兵し、占領下においた。オスマン帝国の衰退に乗じ、権益拡大をはかる西欧列強の干渉も強まった。この状況に、1839年、スルタン〔⑩〕は<sup>(e)</sup>ギェルハネ勅令を発して西欧化改革を開始し、1870年代には近代的な統治機構が整備され、宰相ミドハト＝パシャが起草したアジアで最初の憲法が発布された。しかし、ロシアとの戦争の勃発を口実に憲法は停止され、敗戦によりバルカン半島の領土の大半が失われた。

## 世界史 $\frac{11}{14}$

問1 文章中の空欄 ① ~ ⑩ に入れるのに最も適当な語を以下の〔語群〕から選び、記号で答えよ。

〔語群〕

ア	パヤジット1世	イ	ムハンマド=アリー	ウ	アブデュルハミト2世
エ	アッバース1世	オ	メフメト2世	カ	アブデュルメジト1世
キ	ムハンマド=アフマド	ク	サイイド=アリー=ムハンマド	ケ	セリム1世
コ	セリム2世	サ	ルーマニア	シ	トルコマンチャーイ
ス	マムルーク	セ	フランス	ソ	イギリス
タ	イタリア	チ	レパント	ツ	ギリシア
テ	セーヴル	ト	プレヴェザ	ナ	ニコポリス
ニ	アンカラ	ヌ	モハーチ	ネ	カルロヴィッツ
ノ	アイユーブ				

問2 下線部(a)について、オスマン帝国がヨーロッパ諸国に恩恵的に与えた通商等の特権を何というか、答えよ。

問3 下線部(b)について、このオスマン帝国の軍事封土制を何というか、答えよ。

問4 下線部(c)について、オスマン帝国と戦い、クリミア半島の支配権を奪った当時のロシア帝国の皇帝の名を答えよ。

問5 下線部(d)について、この改革派の名を答えよ。

問6 下線部(e)について、この西欧化をめざした近代化改革を何というか、カタカナで答えよ。

第4問

世界恐慌とファシズムの台頭について述べた次の文章を読み、以下の問い（問1～7）に答えよ。

第一次世界大戦後、敗戦国ドイツは当時最も民主的といわれたヴァイマル憲法を制定し、共和国となったが、ヴァイマル共和国はナチ党の政権掌握によりわずか14年で崩壊した。1920年代、ヨーロッパでは1925年の〔①〕条約締結、1928年の不戦条約の成立など国際協調の動きがみられた。ところが、1929年10月、ニューヨーク株式市場の株価大暴落に始まる<sup>(a)</sup>世界恐慌がナチ党の台頭を招くことになった。世界恐慌はドイツのみならず資本主義諸国の政治や経済に影響を及ぼした。イギリスでは、労働党内閣が倒れた後、〔②〕を首相として挙国一致内閣が発足し、ブロック経済政策によって危機に対処した。ドイツではヴェルサイユ体制の打破や<sup>(b)</sup>ユダヤ人排斥を掲げるナチ党のヒトラーが、共産党の進出を恐れる軍部や産業界に支持され1933年に政権を握り、一党独裁体制を確立した。彼は〔③〕大統領が死去すると総統に就任し、経済の再建に着手した。対外的には軍備平等権を主張して国際連盟を脱退し、1935年に〔④〕を編入した。翌年にはラインラントに進駐し、ヴェルサイユ体制を崩壊させた。一方、1922年に<sup>(c)</sup>ファシスト政権が成立していたイタリアは、1935年にエチオピアに侵攻し、翌年これを併合した。

ファシズムの台頭に対し、コミンテルンは反ファシズム勢力の協力による人民戦線戦術をとった。これを受け、スペインで人民戦線内閣が成立したが、〔⑤〕が指揮する反乱がおき、<sup>(d)</sup>スペイン内戦となった。〔⑤〕側を支援したドイツ・イタリアはベルリン＝ローマ枢軸を結成して協力体制を強めたが、イギリス・フランスは不干渉政策をとり、内戦は〔⑤〕側の勝利に終わった。

日本でも世界恐慌の影響で昭和恐慌がおき、社会不安が高まるなか軍部が勢力をのびた。1930年の〔⑥〕会議で決定した補助艦の保有比率に軍部は強い不満をもった。1931年には関東軍が<sup>(e)</sup>満州事変をおこしたが、政府は軍部の独走を追認し、1933年に国際連盟が満州国不承認を決議すると国際連盟を脱退した。こうしてヨーロッパのヴェルサイユ体制、東アジアのワシントン体制は崩壊し、1937年には三国防共協定が成立した。同年、日本は中国との全面戦争に踏み切った。

1938年、ドイツは〔⑦〕を併合、さらにチェコスロヴァキアのズデーテン地方の割譲を求めた。イギリス首相ネヴィル＝チェンバレンはフランス首相、ヒトラー、ムッソリーニとミュンヘン会談を行い、ドイツの要求を認めた。<sup>(f)</sup>イギリス・フランスはヒトラーへの譲歩で戦争を回避し、平和を維持しようとしたが、1939年3月、ヒトラーはチェコスロヴァキアを解体した。この状況に対しイギリス・フランスに不信感を抱いたソ連は、同年8月、独ソ不可侵条約を締結し世界を驚かせた。その直後、ドイツ軍が〔⑧〕に侵攻し、第二次世界大戦が始まった。

## 世界史 $\frac{13}{14}$

問1 文章中の空欄 ① ~ ⑧ に入れるのに最も適当な語を以下の〔語群〕から選び、記号で答えよ。

〔語群〕

ア ザール	イ ジュネーヴ	ウ ローザンヌ	エ ベルギー
オ ロンドン	カ ポーランド	キ オーストリア	ク ロカルノ
ケ ラパロ	コ フィウメ	サ ラテラノ (ラテラン)	シ ルール
ス ダンツイヒ	セ シュトレゼマン	ソ エーベルト	タ ロイド=ジョージ
チ マクドナルド	ツ ヒンデンブルク	テ フランコ	ト チャーチル
ナ アサーニャ			

問2 下線部(a)に関連して、世界恐慌勃発後のアメリカ合衆国について、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 1933年にアメリカ合衆国大統領に就任し、経済復興政策を実施した人物の名を答えよ。

(2) (1)の人物について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 善隣外交を展開し、キューバの完全独立を承認した。
- イ ワグナー法により、労働者の団結権や団体交渉権を認めた。
- ウ 「十四カ条」を発表し、軍備縮小や民族自決などを主張した。
- エ ヤルタ会談で、イギリス・ソ連の首脳と会談した。

問3 下線部(b)について、ユダヤ人絶滅を目的としてナチスが行ったユダヤ人虐殺のことを何というか、カタカナで答えよ。

問4 下線部(c)について、1922年にファシスト党が政権を握るために起こした大衆行動を何というか、答えよ。

問5 下線部(d)について、ドイツ・イタリア空軍のゲルニカ爆撃に抗議し、「ゲルニカ」を描いたスペイン出身の画家の名を答えよ。

問6 下線部(e)について、満州事変の発端となった事件を答えよ。

問7 下線部(f)について、ドイツの要求に対し、イギリスやフランスがとった妥協策を何というか、答えよ。

## 世界史 $\frac{14}{14}$

### 第5問

次の問1, 2について, それぞれ120字以内で答えよ。

**問1** 専制政治と農奴制が強固であったロシアでは, 19世紀半ばすぎになってようやく農奴解放令が  
発布されるなど, 皇帝が一連の「大改革」に乗り出した。ロシアで農奴解放令が発布された背景  
とその内容, 及び農奴解放令がその後のロシア史に与えた影響について, 次の語句を必ず使用して,  
説明しなさい。

クリミア戦争      ミール

**問2** 第一次世界大戦後のインドでさかんになった独立運動は, イギリスの弾圧と懐柔にあいながらも,  
第二次世界大戦後のインドの独立へと結びついていった。第一次世界大戦後から1930年までの  
インドの独立運動が激化した原因と運動の特徴について, 次の語句を必ず使用して, 説明しなさい。

ローラット法      塩